

## 令和7年度年次総会の概要

参加ご希望の方は6月13日(必着)にて、申込書にご記入の上、FAXもしくは郵便にてお送りいただくか、同内容をMailにてお知らせ下さい。見学会はバスが満席になり次第、締め切ります。

	時間	内容
6月21日(土) 通常総会・特別講演・研究発表・シンポジウム・懇親会	9:00	集合(太宰府天満宮余香殿)
	9:10~10:30	太宰府天満宮正式参拝 御本殿の素屋根見学、宝物殿「藤本壮介」展拝観
	10:30~11:15	通常総会(余香殿)
	11:15~12:30	特別講演 「太宰府天満宮 社叢の歴史と仮殿」 太宰府天満宮顧問 主管学芸員 社叢学会顧問 味酒 安則 氏
	12:30~13:30	昼食・境内拝観
	13:30~14:30	研究発表 「神宮御神宝の御太刀と琉球の赤木~南島から太宰府を経て伊勢へ~」 大阪国学院講師 渡邊 規矩郎 氏 「比良山麓の山の神」 京都大学地球環境学舎 小山 栞奈 氏
	14:30~16:00	シンポジウム 【英彦山の山岳信仰と社叢】 基調講演「修験道美術と自然信仰(仮題)」 九州大学芸術工学研究院教授 知足 美加子 氏 「九州における杉植栽の思想(仮題)」 独立行政法人樹木育種センター育種工学課研究員 渡辺 敦史 氏
	16:00~17:30	パネルディスカッション コーディネータ:福岡県文化財保護審議会会長 日本山岳修験学会理事 森 弘子 氏 パネリスト: 「世界に誇る『鎮守の杜』とその創り方(仮題)」 林学博士 株式会社グリーンエルム 代表 西野 文貴 氏 「山岳信仰と社叢(仮題)」 英彦山神宮祓直 高千穂 有昭 氏 九州大学芸術工学研究院教授 知足 美加子氏 独立行政法人樹木育種センター育種工学課研究員 渡辺 敦史 氏
18:00~20:00	懇親会(於ホテルグランティア太宰府)	
6月22日(日) 見学会	8:00	ホテルグランティア太宰府 出発
	8:05	西鉄太宰府駅 出発(詳細は参加者にお知らせいたします)
	8:15~9:00	竈門神社参拝・散策
	10:00~11:00	道の駅小石原にて買物・行者堂見学
	12:00~12:20	英彦山スロープカー花駅から乗車、神駅到着
	12:30~15:00頃	英彦山神宮正式参拝・参集殿にて昼食
	15:10~15:30	英彦山スロープカー神駅から乗車、花駅着 バス乗車
	17:00頃	福岡空港にて希望者降車
17:30頃	博多駅にて解散	

.....研究発表・シンポジウムと関連行事参加申込書.....

FAX: 075-212-2973

ご希望の( )欄に○をおつけ下さい。同伴者がいらっしゃる場合は人数をお書き下さい。

( )見学会: 同伴 人 ( )懇親会: 同伴 人 ( )研究発表・シンポジウム: 同伴 人

会員番号

お名前

携帯電話番号・Mail アドレス等当日連絡先

**【竈門神社】**

竈門神社が奉斎される霊峰宝満山は標高829.6mのひとときわ高く美しい山です。



御鎮座については、西暦663年、朝鮮

半島における白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗戦した日本軍が、敵の本土侵攻を恐れ、翌年に水城の堤防を造り、また九州を統治する役所を現在の福岡市三宅より水城の内側で防衛するために大宰府に移転した際、その大宰府政庁を守護するために、鬼門に当たる竈門山（宝満山）に於いて、国家鎮護のための祭祀を行う為に祀られた事に依るものです。主祭神は玉依姫命です。宝満山が大宰府政庁と密接な関係にあったことから、最澄や空海をはじめ、遣隋使や遣唐使など大陸へ渡る人々が航海の安全と目標達成のため登拝し、祈りを捧げた山として大切に守られてきました。中世以降は修験者による信仰が盛んになり、山伏たちが厳しい修練を重ね世の中の平安と人々の除災招福の加持祈禱を行いました。

竈門神社は、『延喜式』には名神大社に列せられ、そして明治28年（1895）には官幣小社に列せられました。現代においては、縁結び、方除、厄除の神様として多くのご参拝を頂いており、山岳修験の世界では、金剛界の竈門神社、胎蔵界の英彦山神宮と信奉されています。

**【行者堂】**

行者堂は室町時代に修験道の開祖役行者が開いたとされる霊場で、英彦山と宝満山の峰入りのルートの中点にあ



り、最も重要な修行の場所でした。お堂には文禄4年（1595）8月に肥前国の西持院（さいじいん）の法印叡盛が奉納した役行者像（県指定文化財）が祀られています。行者堂の周辺には約600本とも言われる行者杉の樹林があり修験者が奉納植樹したものと伝えられています。

**【英彦山神宮】**

標高1,199mの英彦山は、羽黒山、熊野大峰山とともに日本、三大修験山の一に数えられています。山岳信仰、神道、仏教、道教、五行思想などを習合した修験道の盛んな山で、江戸時代には『英彦山三千八百坊』とうたわれるほど栄え、3,000人もの人々が山中で生活し、800もの坊舎があったとも言われています。御祭神は天照大御神の御子天忍穗耳命です。中世以降に神の信仰に仏教が習合され修験道の道場『英彦山権現様』として栄えましたが、明治の神仏分離令により英彦山神社となり、昭和50年6月24日、天皇陛下のお許しを得て、戦後、全国3番目の『神宮』に改称され英彦山神宮となりました。現代では農業生産、鉱山、工場の安全の守護神、勝運の神様として信仰を集めています。

**【英彦山神宮のスロープカー乗車時間】**

行程の都合上、時間厳守でお願いします。  
 上り 花駅 12:00 発→神駅 12:20 着  
 下り 神駅 15:10 発→花駅 15:30 着



参加費（いずれもお1人）	見学会	懇親会	シンポジウム
正会員・協力会員・賛助会員	1,2000 円	5,200 円	無 料
市民会員・同伴家族	14,000 円	5,500 円	
一 般	15,000 円	6,000 円	500 円

**<見学会ご参加に際してのお願い>**

- ◇バスの座席には限りがあります。なるべくお早目にお申し込み下さい
- ◇参加費は事前に下記の口座にお振込み下さい（会費用振込用紙の金額を修正して使っていただいても構いません）
- ◇直前のキャンセルは返金できない場合があります

口座名「特定非営利活動法人社叢学会」 垂線号振替：口座番号 00950-0-172640  
 銀行振込：三菱UFJ銀行 京都支店 普通 6720345